



2016.10.4

No.60

芦屋「九条の会」ニュース

発行責任者：片岡 隆 連絡先 090-7118-2312

<http://ashiya9.web.fc2.com/>

～「九条の会」第6回全国交流討論集會に参加して～

「改憲阻止」の決意をあらたに

9月25日「九条の会 第6回全国交流討論集會」が明治大学リバティホールで開催され、各地から500名の仲間が参加した。

冒頭、小森陽一事務局長から「現局面は、昨年強行採決した戦争法を実行に移そうとする安倍政権と対峙している緊張関係にあり、まさに正念場。この間、戦後日本政治史上初めて市民運動が大きな盛り上がりを見せ、参院選での野党共闘に結実した。この流れを引き継ぎ、9条を守り生かすのか、それとも明文改憲の方向に向かわせるのか、『九条の会』の役割が問われている。戦争法を実行させないために、南スーダンへの自衛隊派遣と沖縄新基地建設を許さない運動を核として、一人一人ができるあらゆる努力をしよう。市民運動の力で政治を動かし、改憲を阻止しよう。」と問題提起があった。

続いて、呼びかけ人の澤地久枝さんが「アベ政治を許さない」と白抜きされた黒いバッグを携えて登壇。「日本は民主主義を捨てて独裁国家になろうとしているが、様々な場所で九条の会の広がりを受け、力をもっている。まだ憲法は残っている。9条は生きている。」との言葉に会場からひととき大きな拍手がおこった。86歳の今でも国会前でスタンディングをしている澤地さんのお姿、言葉に私も勇気をいただいた。



12人の世話人会を設置

その後、「九条の会」発展・強化のため「世話人会」の設置と12名の世話人紹介があり、当日参加の世話人6名からのあいさつを受けて、午前の部は終了した。(世話人のみなさんは裏面の通り。因みに平均年齢63歳)

午後は、7つの分散会に分かれて、各地域から活動状況等の報告があった。私の参加した分散会(74名)では、11月に第9師団が南スーダン派遣予定の地元青森からの闘いや、山形・長野・栃木等参院選挙に積極的に関わった会からの発言が目立った。(野党共闘のブリッジ役、縁の下の黒子役、選対に参加等関与の仕方は色々だが)また、新たに結成した会(大学生協・東京)や休眠状態から活動を再開した会もあり、運動の広がりを実感。芦屋「九条の会」からも「11周年」や「10～12月」の取り組みや地域での活動等を報告。各地「九条の会」の様々な粘り強い活動と継続した運動の重要性を再認識し、改憲阻止の決意をあらたにした1日であった。

(文責 片岡)